

秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会における意見と対応について

1 秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会について

第2期秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理に当たり、外部有識者から意見を聴取し、前年度までの実績に関する効果検証と、今後の見直しについて検討する。

2 主な意見と市の検討内容および結果について

同委員会における各進捗状況等に対する委員の意見と本市の検討内容等を整理した。

第2期秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

No.	意見内容	検討内容	対応結果(今回の照会)	担当部局
1	総合戦略の基本目標の達成状況を評価する際に、指標が実態を反映していない場合は、別の視点から評価するなどして、検証してはどうか。	総合戦略の達成状況については、計画策定時に設定したKPIにより評価しているところではありますが、計画を進めていく中で、実態を表せていない部分もあることから、評価の方法について検討してまいります。	現状のKPIでは実態を表せていないものについて、例年行う指標の評価に加え、別の視点から評価を補足するなど、実態を適切に表すことが出来るよう、次年度の検証から取り組んでまいります。	企画財政部
2	情報産業分野においても、市内大学卒業生の確保が課題であると考えており、関係団体等と連携しながら、市内大学卒業生の市内就職率の増加に努めてほしい。	大学生等の市内就職を促進するため、市内企業の求人情報発信等にかかる費用を補助しているほか、学生とのマッチング機会を創出する市内企業研究会の開催や採用情報を掲載した就活ガイドブックを発行しております。今後も事業を継続するとともに、関係団体との連携を深めながら、事業周知に努めることにより、市内企業の情報発信を支援してまいります。	今年度は、中小企業採用・人材育成支援事業補助金により、就職情報サイトへの掲載費用や採用PR動画の作成費用等を補助したほか、市内企業と大学生等とのマッチング機会を創出する市内企業研究会を大学や専門学校との連携により、学内でのイベント形式等で開催し、誘致企業を含む市内企業32社(うち情報通信関連企業19社)の参加があったことに加え、市内企業92社の事業内容や採用情報を掲載した就活ガイドブックを発行したところであり、引き続き関係団体等と連携しながら、大学生等の市内就職率の増加に努めてまいります。	産業振興部
3	トップスポーツの活躍は、関係人口や交流人口の創出につながると考えられることから、スタジアムの整備については、進捗状況を市民に周知しながら、着実に進めてほしい。	現在、八橋運動公園への整備やPFI方式を含む事業手法などについても幅広く検討しており、今後とも、市民理解が得られるよう、丁寧な説明に努めながら、早期整備に向けて取り組んでまいります。	八橋運動公園内に整備することとし、事業主体や事業手法など、整備に向けた本市の考え方を県およびブラウブリッツ秋田に提案したところであり、今後とも、市民理解が得られるよう、丁寧な説明に努めながら、三者で早期整備に向けて取り組んでまいります。	企画財政部
4	創業支援拠点施設を若い世代にも広く周知し、若者がチャレンジしていくための環境づくりにつなげてほしい。	本市創業支援拠点施設「チャレンジオフィスあきた」では、無料で受けられる起業相談のほか、学生をはじめとした若者、社会人の起業を増やすべく、年間を通じて創業機運の醸成等、各種イベント、起業に至るまでの伴走支援を実施しております。今後も広報あきたやSNSへの掲載、メディアへの情報提供などを通じて、各種イベントの周知に努めつつ、若者がチャレンジできる環境づくりに繋げてまいります。	本市創業支援拠点施設「チャレンジオフィスあきた」では、学生をはじめとした若者の起業を増やすべく、無料で受けられる起業相談のほか、年間を通じて創業機運の醸成を図る各種イベントや起業に至るまでの伴走支援を実施しております。令和6年度末にはプロポーザル審査を実施し、令和7年度の委託事業者の再選定を行うことで事業内容のブラッシュアップ、起業の促進を図るとともに、今後も広報あきたやSNSへの掲載、メディアへの情報提供などを通じて、若者がチャレンジできる環境づくりに繋げてまいります。	産業振興部

5	<p>子どもを生み育てることが不利にならないように取り組む必要があると考えている。出産・育児のために仕事を辞めざるを得ない、または雇用形態を変えざるを得ないという状況をなくすことや、希望の保育園に行けるように配慮するなど、仕事と子育ての両立支援に取り組んでほしい。</p>	<p>【市民生活部】 仕事と家庭の両立やライフイベント等によってキャリアに不安等を抱える女性を対象に、スキルアップと仲間づくりの機会となる講座を開催し、自分らしく働き続けるモチベーションを高めてまいります。また、対象者に寄り添った支援の充実を図るため、令和7年度の講座受講者のうち希望者に対する個別相談会の実施等について検討してまいります。</p> <p>【子ども未来部】 出産前に入所申請を受け付けるとともに、産休・育休明けの入所やきょうだいの同時入所を希望する場合には、入所選考の際に使用する指数に加点することで、優先的に入所できるよう努めております。引き続き、仕事と子育てが両立できるよう、入所選考において配慮してまいります。</p> <p>また、従業員の仕事と子育ての両立支援に取り組む企業の認定・表彰やSNSを中心とした情報発信によりワーク・ライフ・バランスの周知に努めており、引き続き、これらの取組により社会全体で仕事と子育ての両立を支援する機運の醸成を図ってまいります。</p> <p>【産業振興部】 なでしこ環境整備補助金により、女性が働きやすい職場環境の整備費用を補助しているほか、なでしこ就労支援事業により、出産や育児等の制約があっても多様な働き方ができるよう、デジタルスキル習得支援講座等を開催し、女性のデジタル人材育成を推進しております。今後も事業継続により女性の雇用促進に取り組んでまいります。</p>	<p>【市民生活部】 女性がライフイベントとキャリアを継続できるように、企業の意識改革と女性のキャリアアップを支援するセミナーを実施するほか、令和7年度は在宅ワーク等、多様な働き方に対応できるデジタルスキル講座を実施いたします。</p> <p>【子ども未来部】 出産前に入所申請を受け付けるとともに、産休・育休明けの入所やきょうだいの同時入所を希望する場合は、優先的に入所できるような対応を行い、仕事と子育てが両立できるよう、入所選考において配慮しました。</p> <p>また、市のワーク・ライフ・バランス推進週間には、秋田市元気な子どものまちづくり企業の表彰式やLINEやインスタグラム・HPで仕事と子育ての両立に関する情報発信を行ったほか、来年度は男性の育休取得促進に取り組む企業のPRを予定しております。</p> <p>今後も、子の看護休暇の対象・取得事由の見直しや育児休業取得状況の公表義務の拡大など、育児介護休業法の改正の趣旨も踏まえながら、仕事と子育ての両立を支援する機運の醸成に努めてまいります。</p> <p>【産業振興部】 今年度は、なでしこ環境整備補助金により、4社の職場環境整備にかかる費用を補助したほか、なでしこ就労支援事業により、出産や育児等の制約があっても多様な働き方ができるよう、デジタルスキル習得を支援し、市内企業とのマッチングイベントを開催したところであります。引き続き、女性の仕事と子育ての両立支援に取り組んでまいります。</p>	<p>市民生活部 子ども未来部 産業振興部</p>
---	--	---	--	-----------------------------------